

新地方公会計制度に基づく財務諸表

地方公共団体の会計では、1 年間にどのような収入があり、何にいくら使ったのかを明らかにすることを目的としています。しかし、この方法では、現在

もに、財政活動をより効率化していくための財務情報を充実させるため、国は新たなモデルに基づく財務書類の段階的整備を進めてきました。平成 18 年に総務省から「地方

動計算書」の財務書類 4 表を、平成 21 年度を期限として整備することになりました。市では、この指針に基づき財務諸表を作成し、当該年度の決算とともに公開しています。今回、平成 23 年度決算に基づき作成した財務書類 4 表の内、貸借対照表と行政コスト計算書を掲載。4 ページの決算および健全

政状況を市民のみなさんに知っていただく資料となります。財務 4 表とは ◆貸借対照表(バランスシート) 会計年度末(3月31日)時点 (ただし出納整理期間中の増減を含む)における資産や債務に関する情報を表すものです。表の構成は左側に資産を表示し、右側に負債および資産と負債の差額である純資産を計上しています。

債合計が一致しバランスが取れていることから、バランスシートもよばれています。 ◆行政コスト計算書(損益計算書) 経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料などの収入を表すものです。コストの面では、人件費などの人にかかるコスト、物件費などの物にかかるコストといった区分を設けています。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが、当該年

度の純経常行政コストです。 ◆資金収支計算書(キャッシュフロー計算書) 現金の流れを示すものであり、その収支を性質に応じて、経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支などと区分して表示することで、どのような活動に資金を必要としているかを表示しています。 ◆純資産変動計算書 純資産(資産から負債を引いた残余)が会計期間にどのよ

うに増減したかを明らかにするものであり、総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したかの情報を表示しています(新地方公会計制度により新しく追加された財務諸表です)。 ※資金収支計算書と純資産変動計算書は、市ホームページ(行政情報)市の財政(決算)をご覧ください。 図 会計課出納班(☎内線 20

●平成 23 年度印西市バランスシート●

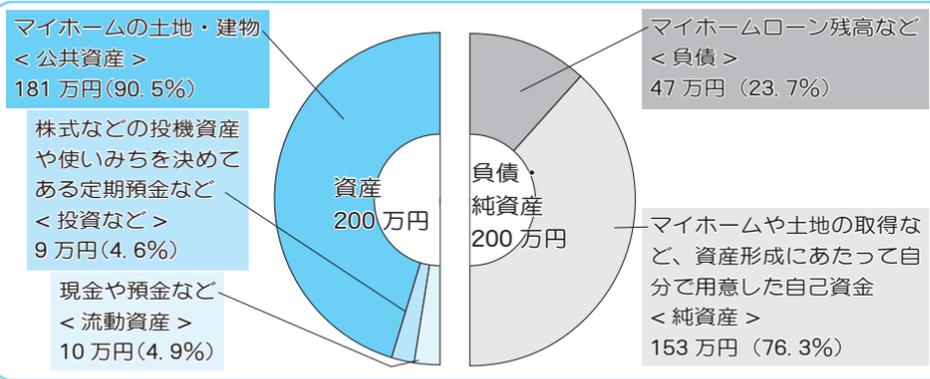
平成 24 年 3 月 31 日現在 (単位:千円)

Table with columns for assets (借方) and liabilities/equity (貸方), subdivided into public assets, investments, and current assets.

バランスシートの見方 この表では、左側(借方)に市が保有している土地・建物・預金などの「資産」を示し、右側(貸方)にその資産を形成したために、将来の世代が負担し今後支払いが必要となるもの「負債」と、これまでの世代がすでに負担し支払いの必要がないもの「純資産」がいくらあるかが示されています。

市が所有する土地・建物などの資産を地方財政状況調査のデータに基づき、行政目的別に区分表示したもの。有形固定資産のうち換価性の高い土地や建物で、今回の改訂モデルで新たに加わった項目。水道事業などへの出資金や信用保証協会などへの出資金。まちづくりなど特定の目的に使用する基金。年度間の財源を平準化するための基金や将来の市債償還に充てるための基金など、年度末の歳計現金も含む。基準日までに徴収できなかった税金など。

市債のうち、翌々年度(平成25年度)以降償還が予定されている元金。年度末に在職する特別職を含む全職員が普通退職する場合に必要な退職手当推計額。市債のうち、翌年度(平成24年度)中の償還予定元金。これまでに形成された資産のうち、今後返済が必要となる金額。借方に「売却可能資産」が加わったことに伴う変動額や寄附などにより無償で受贈した場合の評価差額。これまでに形成された資産のうち、すでに負担した金額。旧モデルでは、「正味資産の部」と表記していました。



■経常行政コスト(消費)の部 (単位:千円)

Table showing regular administrative costs by category: personnel, materials, transferable, and other costs.

■経常収益の部 (単位:千円)

Table showing regular income by category: usage/fees, contributions, and other income.